

男が神を敬う時(新約聖書: 第一テモテ 2 章5節～15節)2020.8.23

<https://www.youtube.com/watch?v=dBo5o8CSxkg>

おはようございます。日曜日の朝の第二礼拝、聖書の学びによろこ。第一礼拝は「聖書預言・アップデート」で、第二礼拝は「聖書の学び」です。聖書を書ごとに、章ごとに、節ごとに見ていきます。木曜日の夜は旧約聖書の「伝道者の書」を学び、日曜日の朝は、「第一テモテへの手紙」を読み進めて行きます。今日は、主の御心ならば、2章目を終えるつもりです。先週、2章4節まで学びましたので、15節から...ではなく、5節です。15節だと、すぐに祈りで締めくくってしまっていますね(笑)。

実を言うと、きっと皆さんはこの箇所を聞いた途端に早く祈りで締めくくって終わりにしたい、と思われるかもしれませんが。どうか皆さんお立ちになり、私が読むのについて読んでください。オンラインの皆さんも一緒に読んでください。5節から始めます。使徒パウロは聖霊によってこう書いています。

第一テモテへの手紙 2 章

5 神は唯一であり、神と人との間の仲介者も、人であるキリスト・イエスただおひとりなのです。

6 この方は、すべての人の贖いとして 御自身を献げられました。これは、定められた時になされた証しです。

7 わたしは、その証しのために宣教者 また使徒として、すなわち異邦人に信仰と真理を説く 教師として任命されたのです。私は真実を語っており、偽りは言いません。

8 だから、わたしが望むのは、男は怒らず争わず、清い手を上げてどこでも祈ることです。

9 同じように、婦人はつつましい身なりをし、慎みと貞淑をもって身を飾るべきであり、髪を編んだり、金や真珠や高価な着物を 身につけたりしてはなりません。

10 むしろ、善い業で身を飾るのが、神を敬うと公言する婦人にふさわしいことです。

11 婦人は、静かに、全く従順に学ぶべきです。

12 婦人が教えたり、男の上に立ったりするのを、わたしは許しません。むしろ、静かにしているべきです。

13 なぜならば、アダムが最初に造られ、それからエバが造られたからです。

14 しかも、アダムはだまされませんでした。女はだまされて、罪を犯してしまいました。

15 しかし婦人は、信仰と愛と清さを保ち続け、貞淑であるならば、子を産むことによって 救われます。これ以上の説明は必要ありませんね。先程言ったように、今日の教えはここまでにして、祈りで終わりにしましょうか。とはいきませんね...聖書を節ごとに教えるとき、こういった箇所を飛ばしたくても、飛ばすことはできません。しかし、主が私たちに 用意してくださっていることが ここにあると私は信じています。この時間を神が祝福してくださることを、共に祈りましょう。主よ、ありがとうございます。主よ、あなたの御言葉に感謝します。今日私たちに

与えられているこの箇所さえも。主よ、聖霊が私たちに 理解する目を与えてくださらなければ、あなたの御言葉を通して、あなたがお示しになること、私たちに語られたいことを、得ることはできません。だから、主よ、あなたの御心通りになさってください。素直にあなたの教えを受け入れ、柔軟性のある心を持ち、意味があって私たちに 与えられているこの箇所を、しっかりと受け取りたいのです。すべての御言葉には、神の息がかかっています。主よ、なぜあなたがこの箇所を書かれたのか、私たちは知りたいのです。だから、主よ、語ってくださるように祈ります。イエスの名によって、アーメン。どうぞお座りください。さて、私がお話したいのは、敬虔な男についてです。これは使徒パウロが、テモテへの手紙の中で 取り上げているものです。私が認識しているのは、この箇所を 初めて読む人の中には、実際の意味とは全く異なった解釈を していることがある、ということです。この箇所が、女性は男性よりも下の身分であることを 示すためだけにある、という解釈です。はい。そうではありません。実際にはこの箇所は、女性が、神が創造された通りの女性であるため、そして男性が、神が命じられた通りの 男性であるためのものです。そのことを言っているのです。数年前、私は G.キャンベルモーガンからこの引用を聞きました。何年も前から私の心から離れない言葉で、今の私たちにはピッタリだと思います。彼は、結婚したことがない年上の クリスマン女性について話していました。なぜ(結婚しないのか)と尋ねられた時、彼女は、このように説明しました。「私を使いこなせる男性に 出会ったことがないから。」なんとまあ。これは、女性のある傾向を物語っています。それは、女性が従いたいと思う男性とは神から与えられた責任を真に理解し、そして、その責任を全うする人だということです。そして、これが理由です。神は、このように女性を創られた

のです。女性は男性の権威の下で、安心して守られていると感じるのです。男性が、与えられている主導権に責任を持つ時に、です。しかし、問題があります。それは、男性が主導者としての責任を放棄するときです。女性が足を踏み入れて、主導権を持つのはそのためです。「男性の仕事に最適なのは、時に女性である」とは、よくいわれることです。驚かれるかもしれませんが、私もそう思います。ただ男性がリードできないという理由だけで、女性が主導権を握る必要がある状況も起こり得ます。

更に悪いことに、男性にやる気がなく、拒否することもあります。しかし、私はこうも主張します。しばしば女性が男性に代わって主導権を握ろうとするのは、男性がその権利を拒否したからではなく、女性が彼の権威を奪うことを選択したからです。創世記3章16節にあるように、これは呪いです。この箇所を理解するのに役立つので読ませてください。皆さんもそう思われているはずですが、これは少し理解しにくいので。女性が子を産むことによって救われるとは、どういう意味なのか？ 一体どうしてそうなのか？ さて、創世記3章16節、これは女性への呪いです。

創世記3章16節

「次に女に言われた。『わたしは、あなたの産みの苦しみを大いに増す。あなたは苦しんで子を産む。』

この部分を覚えていてください。そして、次の部分に注意してください。この箇所は二つの部分に分けられているからです。

「あなたは夫を慕い、彼はあなたを治めるであろう。」(創世記3:16)

今、私は若い信者だった頃のことを告白せねばなりません。私は「おお、いいねえ。」と思ったのです。「彼女の欲望は夫に向けられる」「感謝します。」そういうことではありません。「あなたは自分の上にある男性の支配権を奪い取りたいと思うだろう。」そういう意味です。ああ、そういう意味でなければ良いのに...彼女の願望が彼女の夫を求める、という意味であることを願いますが、実際には彼女の願望は、彼女に対する夫の権威を奪うことです。あるコメンテーターは、これを見事に表現しています。「男性が家庭や教会内でリードできないこと、またイエスのように人々をリードできないことは、「男性の権威の拒絶が主な原因であり、許し難い。」誰もうぬぼれてはいけません。男性は、キリストがどのように男性の上に主権をお持ちかを考えるべきです。男性に対する権威です。さらに、父なる神は、息子としてのキリストに対する権威があります。これは、神の権威の完全な秩序の例です。それが、神が定められた方法なのです。

エペソ5章。これはおそらく聖書の中で最高の箇所の一つです。「何か」を説明するだけでなく、その背後にある「理由」を説明しているからです。21節から読んでいきます。パウロはこう言っています。

「キリストに対する畏れをもって、互いに仕え合いなさい。」(エペソ5:21)

ここで止めます。これは21節です。それは22節の前にあります。とても意味深いですよ。しかし、22節に何があるかご存知ですか？ すべての夫は、22節を暗記しています。そして、彼らはそれを妻に対して引用します。なぜなら、こう書いてあるからです。

「妻たちよ。主に仕えるように、自分の夫に仕えなさい。」(エペソ5:22)

女よ、仕えなさい。お願いですから、そんな風に私を見ないでください。しかし、21節は22節の前に来ます。私たちは21節については話したがりません。男性方、そうですね？ なぜでしょう？ それは、「互いに仕え合いなさい。」と書いているからです。「私は妻には仕えない！」「彼女が私に仕えるべきだ。」えっと、ちょっと待ってください。なぜそうなるのかを見てみましょう。ですから、私たちは仕え合うべきであり、21節と22節には共通の特徴があるということに気づくべきです。

それは、キリストに対する敬意と、主への敬意から生じるのです。そこに、服従があるのです。23節に進みます。

「キリストが教会のかしらであり、自らその体の救い主であるように、夫は妻のかしらだからです。」(エペソ5:23)

「教会がキリストに仕えるように、妻もすべての面で夫に仕えるべきです。」(エペソ5:24)

「夫たちよ、キリストが教会を愛し、教会のためにご自分をお与えになったように、あなたがたも妻を愛しなさい。」(エペソ5:25)

「キリストがそうなさったのは、言葉を伴う 水の洗いによって、教会を清めて 聖なるものとするためであり、」
(エペソ 5:26)

「ご自分で、しみや、しわや、そのようなものが 何一つない、聖なるもの、傷のないものとなった 栄光の教会を、
ご自分の前に立たせるためです。」(エペソ 5:27)

「同様に夫たちも、自分の妻を自分のからだのように 愛さなければなりません。」(エペソ 5:28)

私はまだ、自分の体に興味のない男に 会ったことはありません。男が絶対にすることと言えば、店のフロントガラスの そばを歩きながら、自分の姿を見ることです。ところで、女性ではなく男性に対する勧告は、これで2回目です。「夫たちよ、妻を愛しなさい。」2回目です。1回目は、キリストが教会を愛し、教会のために自分自身をささげたように。2回目は、すでにあなた自身の体を愛しているように、あなた自身の体をいたわるのと同じように、あなたの妻を愛しなさい。皆さんが鏡の前でどれだけの時間を過ごすか、考えてみてください。...これは興味深いです。これを覚えておいてください。またすぐに戻ってきますから。

「妻を愛する人は 自分自身を愛しているのです。」(エペソ 5:28)

本当でしょうか? 「幸せな妻にして、幸せな人生あり」というのを聞いたことがありますね。あるいは「ママが幸せではない時は、誰も幸せではない」と言った方が良いかもしれません。ここに書いてあります。

「いまだかつて自分の身を憎んだ人はいません。むしろ、それを養い育てます。キリストも教会に対してそのようになさるのです。」(エペソ 5:29)

「私たちはキリストのからだの部分だからです。」(エペソ 5:30)

「それゆえ...」創世記への参照に注目して下さい。

「男は父と母を離れ、その妻と結ばれ、ふたりは一体となるのである。」(エペソ 5:31)

「この奥義は偉大です。私は、キリストと教会を指して言っているのです。」(エペソ 5:32)

「それはそれとして、あなたがたもそれぞれ、自分の妻を自分と同じように愛しなさい。」(エペソ 5:33)

3回目です。そして、妻に対しては7語だけです。これにはいつも悩まされます。神は、夫に3回こう言います。「あなたの妻を愛しなさい。あなたの妻を愛しなさい。あなたの妻を愛しなさい。」それから神は妻に向かって、7語だけ言うのです。公平ではありません。

「妻もまた、自分の夫を敬いなさい。」(英語では7語)(エペソ 5:33)

ちょっと待ってください! 待ってください! わかりました、いいでしょう... 女よ、私を尊敬しなさい!

これには問題があります。あなたは私を愛していません。繋がりましたか? これらの点を繋げられましたか? その仕組みは次のとおりです。妻と私は、結婚して... ああ、なんということでしょう... 彼女が今日ここに居なくて良かったです。それとも、ハニー、見てる? 本当にすまない。32年だと思えます。もしかして33年かもしれません。分からなくなりました。そして、私は皆さんに伝えるためにここに居ます...これは、木曜日の夜に学んでいる「伝道者の書」から、「苦勞して知る」ということです。私は苦勞して学ばなければならなかった一人で、それを証明する傷跡があります。そして、これは私が苦勞して学ばなければならなかったものです。私はずこのように彼女を愛さない限り、妻は決して私を尊敬しないということ。妻を愛する夫を見せてください。そうすれば、夫を尊敬する妻を見せてあげましょう。そのように機能するのです。ああ、早い段階で学んでいたら、多くの惨めさや苦しみ、心の痛みから自分を救うことができたのに。そして、あれほど無視されることもなかったのに。それが一体どういうものか、お分かりですよ? 時には2、3日も続きます。「私が謝るもんか。」「彼女が私に謝るべきだ。」それは功を成していますか? 夫として、「私は家のリーダーだ!」「私が家族の中で、主導権を握ってるんだ!」(I wear the pants in my family: 直訳:家族の中でズボンをはく)しかし大事なものは、どのズボンを履くか、あなたの妻が選んでいる、ということです。「私は家の頭だ!」一分かりました。あなたの妻は首です。同じ体の一部です。そして、それが問題ですよ? 神がこのように女性を形づくられたのです。こんな言い方で申し訳ないですが、もっと良い表現が分からないのですが、神は、愛に敬意を持って応えるように、女性を創られたのです。その愛が欠如し、愛されていない女性、愛されていない妻、「箴言」に、これは地が震えることの 一つだと書かれています。夫に愛されていない妻を持つことは、とても耐えられないことだと(箴言 30:21~23 参照)これは結婚そのものに関する 教えではありませんが、結婚にも 当てはまることは明確です。夫の皆さ

ん、聞いてください。私はただ、あなたに面と向かって話したいのです。私たちは、神が召されている男であるべきです。そして、それができて初めて、私たちは求めている妻を得ることができるのです。なぜなら、神が女性をそのように創られたからです。それに逆らうことはできません。妻には愛情(Affection)、肯定(Affirmation)、注目(Attention)の3つのAが必要だと言われています。神は、妻がこう感じる必要があるように、形づくられたのです。妻が、夫であるあなたの人生の中で、主の次に、最も大切な人であることを。もし彼女が、友人、趣味、スポーツ、サッカーなど他の何かと張り合っていたら？ そうならば、あなたは代価を払うことになるでしょう。もしかしたら、すでにそうかもしれません。賢明な夫とは、以下のことを実行できる人です。「もし妻が、夫にとって自分が一番大切な人であると感じることができたら、妻はとても安心しているので、夫を4時間でもゴルフに行かせてくれる」想像してみてください。ある夫がゴルフクラブを背負っていて、「あなた、どこへ行くの？」—「ゴルフに行くんだよ。」「また??」「ああ。」おお...どのように評価しますか？ 使徒パウロは、エペソの教会に、同じことを語っています。それは、彼がテモテへの手紙の中で、主導権とリーダーシップに関してここで話していることです。考えてみれば、こうあるべきなのです。なぜなら、もしあなたが2つの頭を持っていたら、それは異常だからです。頭は一つしかありません。男の頭はキリストです。女の頭は男です。そして、キリストの頭は父なる神です。これが、神が定められた権威構造なのです。男が女のかしらであるのは、このためです。しかし、男の主導権、男のリーダーシップは、キリストの愛のように犠牲的であり、キリストの愛のように愛のこもったものであるべきです。あなたがそのように妻を愛すること、それが唯一の方法です。なぜなら、神がそのように定められたからです。以前もお話しましたが、私は結婚式を執り行う度に、恐らくもう結婚執り行いの依頼があまり来なくなった理由かもしれませんが、私は、いつも夫やこれから夫になる新郎をわざと困らせるのです。ちょうど今読んだ、エペソ5章を使うのです。そして、繰り返しますが、私は苦労して学びました。今では、事前に彼らに知らせるようにしていますが、以前は知らせずに困らせていました。彼らが前に出てきます。彼女はウェディングドレスを着ていて、とても美しいです。彼はとても緊張していて、彼らはそこに立っていて、私はエペソ5章を読んでいます。パウロが、「夫よ、あなたの妻を愛しなさい。」「夫よ、あなたの妻を愛しなさい。」「夫よ、あなたの妻を愛しなさい。」と言っている箇所を。そして、彼女には、「あなたの夫を尊敬しなさい。」その後、私は新郎を見て、こう言います。「どうやって彼女をこのように愛するのですか？」「難しい注文ですよ？」「はい...」キリストが教会を愛し、教会のために自分自身を 献げられたのと同じくらい彼女を愛しなさい？ あなたが自身の体をいたわり、愛するように、彼女のことを愛しなさい？ あなたが自分自身を愛するように彼女を愛しなさい？ あなたはどうやってするんですか？ こう答えた新郎がいました。「分かりません...！」「分かりません、どうすればいいんでしょう？」「あなたに聖霊がない限り、それが出来るすべはありません。そして、聖霊の実、それは愛です。あなたが、そのように彼女を愛することができる唯一の方法は、神が彼女のためにあなたに与える愛によってです。それは無尽蔵の、無限の供給です。以前にも、これを共有したことは分かっています。皆さんが飽き飽きしないことを願います。これはおそらく、私の長い結婚生活の中で最も面白い例の一つです。それは結婚初期のころです。ある時、私は妻に目を向けました。その時、私は自分が敬虔な男だというような、深い霊的な感覚に浸っていました。私に尋ねてみてください。私がどれほど敬虔であるか教えましょう。プライドで満ち、自分のことでいっぱい。私は妻に目を向け、ちょうどこんな口調で、こう言いました。「ハニー、私は神だけが与えることのできる愛をもって、君を愛している。」私はそれに、少し欽定訳の響きを入れました。「それは唯一神からしか得ることができない。」私は彼女が私に身を投げ、強烈なハグをしてくれると、完全に期待していました。「ああ、ハニー。あなたが夫であることで、私は本当に祝福されているわ！」...彼女はそう言いませんでした。その代わりに、彼女は、妻にしかできない表情をしました。それは...。注意しなければいけません。犬が、首をかしげるのを知っていますか？ これは悪い例えですか？ 分かりました、忘れてください。しかし、彼女はこんな表情をしたんです。「何???!」私はとても混乱しました！私は、こんな感じで...「...???!」「私が今言ったこと、聞いてた?!」そして、彼女は私をこんな感じで見つめ...「つまり、神が私への愛をあなたに与えることが、私を愛する唯一の方法であるほど、私が愛しがたい存在であるってこと？」そして、彼女は泣き始めました。私は「いったい何なんだ...?!」「どうして...?どうしてそうなるんだ!?!」「全くそういう意味じゃなかったのに!」とにかく...その後、約1週間私はソファで寝たと思います。要点は、それは真実だとい

うことです。夫の妻への愛は、神からくるものです。愛である神。ただ愛があるのではなく、神は愛そのものです。それが神なのです。そしてそれが、あなたがそのように彼女を愛することができる唯一の方法です。男性方、これに多くの時間を費やしていることを お許しください。しかし、結婚に関しては、妻は夫の反映です。どうですか？ サーモスタット(温度調節器)が温度計に応じて 温度を設定するように、女性も男性に合わせて温度を設定します。なぜ彼女が冷たいのか不思議に思いますか？ これ以上探す必要はありません。彼女は、自分を設定しています。彼女はあなたを反映しているのです。もしあなたが、彼女に対して醜い態度をとったり、見下した発言をしているなら？ ペテロがとても具体的に話していることを 思い出します。それは聖書の中で非常に興味深い一節です。事実、この言葉が使われているのは、新約聖書の中で、この時だけです。ペテロは、こう言います。「夫よ、あなたの祈りは天井から跳ね返り、妨げられるであろう。」もしあなたが、彼女をよく理解せず、彼女の感情に敏感でなく、「生活を共に」しなければ、これは興味深い言葉ですね、あなたの祈りが妨げられるだけでなく、あなたに欠けているのは、彼女があなたとの共同相続人だということです。どういうわけか、あなたは彼女を見下し、あなたより劣っていると見ています。この後、それについてもっと話します。男が自分のかしらとして、イエス・キリストの権威に従っているなら、女性は次第に、彼女のかしらとして男の権威に自ら従うでしょう。こんな風に言ってもよいでしょうか？ 彼女は抵抗できないでしょう。彼女はあなたのイエス・キリストへの従順さに、抵抗しがたい魅力を感じることでしょう。なぜでしょうか。それは、そのように神が女性を創られたからです。繰り返しますが、そのように神が彼女を配線されたのです。適切な表現ができませんが。私はそれをさらに一歩進め、教会にも 当てはまることを示唆したいと思います。指導者が神に従わなければならないという意味です。これが、パウロが 5 節から 7 節で こう話す理由です。

「神は唯一です。神と人との間の仲介者も唯一であり、それは人としてのキリスト・イエスです。」(1テモテ 2:5)

いうならば、それがあなたの基準で、模範であり、モデルです。この秩序を確立した後、権威のある男性と、男性の主導権を奪わない女性に関連した 詳しい解説をしています。この一節に、その理由の詳細があります。まず、8 節から 11 節の、神から与えられた 権威を持つ男性について話しましょう。パウロは 8 節で何よりもまず、男性に向けて語っていることに注目してください。私がこれを好むのは、私たちは男性が男性ではない時代に生きているからです。すみません。つまり、それは...すぐにその話をしますが... 後に話すことが沢山ありますね。今日の午後 2 時ごろまでには、そこにたどり着くでしょう。しかし、私たちの社会で男らしさが解体されているのは 興味深いことではないでしょうか？ その背後にいるのは、誰だと思えますか？ 私は今日の説教を、もう少しで「男が男である時」というタイトルに するところでした。しかし、それはとても 挑発的であるかのように感じました。しかし、やっしまいました。それがサブタイトルになると思います。しかし、考えてみてください。男が、本当に男である時。男性方、秘密を打ち明けましょう。既にご存知だと思いますが、 思い出す必要があります。女性が本当に望んでいることを 知っていますか？「いいえ！ 教えてください！」「女性が本当に望んでいるもの」という本を書くことができますよ。タイトルだけで、すぐにベストセラーに なるでしょう。

あなたは、女性が本当に望んでいることを 知っていますか？ 彼女たちは、あなた達に男であって欲しいのです。それが彼女らが本当に望んでいるものです。彼女たちは、あなた達が男らしくあることを 求めているのです。神はあなたを男として創られました。そして、私を女に創られました。「私は、男でいたくない！」私は、あなたが 女にはなりたくないと確信しています。なりたいですか？ この話はやめておきましょう。しかし、要点は得れましたね？ 男でありなさい。私たちは、リーダーシップを取りたいと思っています。「私が家のリーダーだ！」それでは、この分野でも先頭に立ってみませんか？

「どういう意味ですか」。「私はリードしたい、私が家のリーダーだ。」では、争いや問題や課題があるときはどうですか？ その時はリードしないのですか？ あなたたちが争い、議論をしている、もしくは牧師たちは、夫婦間でのことを “激しい交わり”と呼びますが。そこで、あなたは喧嘩をしている。

主導権をとらないのですか？ 私たちがよく言うように、男らしく。主導権をとり、自分から謙虚になる。

そして、あなたが謙虚になるとき、神はあなたを高くあげられます。しかし、あなたが自分自身を高めるなら、あなたは低くされます。ここに例があります。特に結婚の箇所では、おそらく最良の例の 1 つです。繰り返します

が、私自身の結婚から、私自身の経験、私自身の人生のことです。喧嘩をしています。激しいです。「私?!」「お前はどうかだ?!」「自分のことは棚にあげて!」カッとした瞬間に、決して使ってはいけない言葉が2つあります。その言葉とは、「いつも/always」「絶対に~しない/never」「お前はいつも___だ!」(空欄を埋めてください。)
「お前は絶対に___しない!」

これらは「戦いの言葉」です。完全に肉の中にいる男性がいます。皆さん、正直になりましょう。私たちは肉の中にいます。「ああ、そうか?!」「お前は絶対に...お前は...!」男性方、これをやったらどうです? あなたは喧嘩をしています。「お前は絶対に...お前はいつも...!」「ハニー、知っているかい?」「君の言うとおりにだよ。」「すまない。」彼女はあなたをこんな感じで見て...「私の夫に何をしたの?」「あなたは誰?」「私の目の前にいるこの男は誰?」彼女は和むでしょう。彼女はもしかしたら...繰り返しますが、この比喻をお許してください。彼女は、あなたが本物かどうかを確認するために、まずあなたの体温を測るかもしれません。妻というのは何か持っていて、もしそれが偽物なら、なぜか見破ることができます。「惜しい。」「その手にはのらない。何が欲しいの?」どうなるか皆さん分かりますね? しかし、神が女性をそのように創られたのですから、彼女たちはすぐに和むでしょう。私たちの結婚で何が起こったのかというと、私はこう言います。「ハニー、君が正しい。」「すまなかった。」彼女は、「いいえ、私が悪かったわ!」「いや、私が悪かった!」そして、もう一度、喧嘩に戻ります。そうなったことないですか? そうですか...。悪い例えです。しかし、あなたが謙虚になり、「よし、私は主導権をとり、十字架のもとへと行こう。私は、これを主のところへ持って行こう。」そう言えば、あなたの家の中の夫婦関係は劇的に変わるでしょう。そして、家族全体も。パウロは最初に男性に向けて語り、きよい手を上げて祈るように勧めています。(1テモテ2:8参照)

ここで止めます。敬虔な男とは、祈る男です。神の男とは、祈る男です。こんなことは少しも考えてはいけません。妻が、夫が祈っているのを見るとき...こう表現するのをお許してください。それは、彼女の気を引くだろうと。私が言うのはそこまでです。なぜなら、神が女性を そのように創られたからです。

体温とサーモスタットと 温度計について話したいですか? そして、あなたが彼女のために祈っていたとしたら? 男性方、あなたの妻が、最後に あなたが彼女のために祈るのを見たのはいつですか? 彼女の気分はとても良くなるでしょう。それに沿ってもう一つ。男性方、なぜ交際しているときには、そうなるんですか? その言葉が若者にとって、非常に外国語のようであることは知っています。それは交際期間、あなたが結婚する前のお付き合いする期間です。デートと呼ぶこともできます。何でも好きなように呼んでください。しかし、それは求婚期間です。だから、あなたは最高の振る舞いをします。

彼女のためにドアを開けます。花を買います。つまり、あなたはロマンスをオンにしていますよね? そして、あなたが彼女を得て、結婚したときには? あなたはもう、彼女のためにドアを開けません。こんな感じです。「早く来い!! 入れ! 遅れてるぞ!」長くは続きませんでしたね。女性は、ある例えがあって、美しい植物のようなものです。水を与え、育て、世話をする必要があります。そうすれば、繁栄し、実を結ぶでしょう。パウロは、きよい手を上げて祈りなさいと言います。そして興味深いのは、「怒ったり、言い争ったりせずに」と言っていることです。私にとって興味深い理由は、男がいかに 意地悪いかを物語っていると思うからです。言ってしまいました。男性は、実にとっても意地悪になることがあります。怒り、不機嫌、イライラ、特に仕事から帰宅するときです。長い1日だったからです。もしかしたら、妻も長い1日を過ごしたのではないかと 思ったことがありますか? 結局のところ、彼女は一日中子ども達と一緒にいたのです。あなたは仕事の後に家に帰ってきて、玄関から入ると、「一人にさせてくれ!」また不機嫌。そして、あなたがすることと言えば、「晩御飯は?!」「私に仕えなさい。」すべてあなた中心です。あなたはリクライニングチェアに座って、テレビをつけて、そしてあなたの妻は枯れていきます。彼女は大人の会話が必要なのです。なぜなら、彼女は一日中、子どもたちと会話していたのですから。だから、あなたは家に帰って、ただ聞くのです。彼女に話をさせて、発散させてください。たとえ舌を噛むことになったとしても。ほとんどの時間がそうかも知れませんが。そして、自分自身を守ろうとしたり、話を遮ったり、修正しようとしなくてください。それは、男性皆がやることです。彼女はあなたの口を必要としません。あなたの肩を必要としているのです。。もしあなたの肩を与えないなら、彼女は、別の肩を見つけるでしょう。こんな言い方をして申し訳ありませんが、それが事実です。あなたが彼女に耳を傾けるつもりがないなら、本当に理解し

ようもしないなら、神は、このように女性を創られたのです。それを言い訳にするためではなく、本当に説明をするためです。夫である皆さん、あなたは彼女を 次の男のために仕立て上げているのです。その男がすることは、彼女に注意を向け、喜んで彼女の話を書くことだけです。そして、あなたは彼女を失います。悲しいことに、統計がそれを証明していると思います。クリスチャンの結婚の中でさえも。なぜなら、クリスチャンの結婚における離婚率は、悲しいことに、ノンクリスチャンの結婚と 違いがないからです。ですから、ここで再び順序に注意してください。もし男がこういうことを行い、怒ったり、言い争ったりしないなら、その後、9 節から 11 節で、パウロは女性に向けて語っています。ここで少し面白くなります。彼は女性に、つつましい身なりで、控えめな服装をするよう勧めています。ああ、なぜ私は..さて、まあ..どうか聞いてください。女性方、お話があります。お願いします。男性は視覚によって刺激されます。いいですか？ だから、あなたが刺激的な服を着るとき、あなたは私たちを殺しているんです。本当にそうです。神が私たちをそのように設計されたからです。それは視覚的な刺激です。面白いのは、その反対に、神は女性を視覚的刺激ではなく、会話によって刺激を受けるように造られたのです。ある話を思い出します。実話です。妻は夫に何か言い、彼は呆然とします。彼は彼女を見て、こう言います。「どうしてこんなに愚かなことが、こんなに美しい人から出てくるのか。」男性方、あなたの妻にそう言ってはいけませんよ。彼女はこのように答えます「ハニー、それはね、あなたが私と結婚するように、神は私を美しく造ったのよ。そして、神は私を愚かに造ったから、私はあなたと結婚したのよ。」どうでしょう？繰り返しますが、男性は視覚的に刺激されます。だから、あなたが刺激的な服を着るとき、それは私たちをつまずかせるのです。ところで、パウロは教会に特化しています。テモテは教会の牧師です。これは、神の人々が集まったときの教会に 向けられています。「女たちは、控えめな服装をしなさい。」そしてパウロが、「権威に従って、静かに暮らすことを学びなさい」と言う...ええと...このことのゆえに、多くの女性が単独で、多くの教会を分裂させてきたと言わせてください。彼女らは自分を主張し、非難中傷を広め、うわさ話、噂、告発を始めます。そして、それはウイルスのように広がります。しゃれじゃありません。そして、それは会衆全体に感染します。私は教会を見てきました...このことが理由でミニストリーから離れた牧師を 見てきました。そして、子どもたち、特にこのようなものを目にする、若い 10 代の子たちは、教会とは全く関わりたくないと思っています。彼らは、何が起こったのかを見て、キリスト教とは何も関わりたくないのです。今日の若者が、主や教会とは 何も関わりたがらないのはなぜなのか、不思議に思う必要はないのかもしれませんが。彼らを責めることはできません。繰り返しますが、それは言い訳ではありません。しかし、説明がつかます。女性の話に移りましょう。男性方の何人かはホッとされていますね。皆さん、まだ窮地は脱してませんよ。12 節から 15 節で、使徒パウロは再び、非常に詳しく書いています。神から与えられた 男性の権威を奪う女性たちについて。彼は、女性が男性に教えるというような、女性が男性の権威の上に立ってはいけないことを、明確にしています。ところで、これが、教会の主任牧師を 女性が務めるべきでない理由です。何年も前に、ある女性が私のところに来ました。かつてこの教会に通っていましたが、もうこの教会には来ていません。彼女がしたある質問の、私の答えのせいです。「女性が牧師になっていいと思いますか？」と私は「それは絶対に良くない。」と言いました。そして、ここに理由があります。「なんと、あなたは女性差別者で、男尊女卑で...！」まあ、私はもっと酷いことを言われてますから。今に始まったことではありませんし、主が遅れても、おそらく最後にはならないでしょう。では、「なぜか？」私たちはもう一度、「なぜか」という質問に取り組みましょう。その背後にある理由は？n なぜ女性は男性の上に権限を持つことを 許されていないのか？ パウロはこれに答えています、あなたが考える答えではないかもしれませんが。パウロがアダムではなく、騙されたエバのことを言っていて、彼は、サタンが女性の弱さを 利用すると言っているのです。そして、同じようにアダムは...注意深く聞いてください。なぜなら、今、敵はあなたの思いを 散らせようとしているからです。そして、気が散らされれば、あなたはこれを逃すことになります。これを逃さないでください。蛇がエバを欺いたとき、彼女と一緒に いなかったと信じられているアダムは、彼女を守らなかったと言う罪を犯しました。良く聞いてください。これは非常に重要です。カルトの多くは女性によって始められました。神は、男性よりも霊的であることを 求めるように女性を創造したので、女性の中には生まれもったものがあります。男性よりも女性の方が、もっと霊的であるという、生まれ持った性質があります。理にかなっていますか？ しかし問題は、神が女性の上に男性を置くのは、彼女の上に主を置くためではなく、彼女の覆いとなるためなのです。こんな名言を聞いたこと

があるはずです。「神はエバを、アダムの横にある肋骨から造られた。彼の上にある頭からでなく、彼の下にある足からでもない。」ここでも、優位性と劣等感の問題です。女性が弱い器だと言われる時、それは劣っているのではなく、生理学的にだけです。研究と科学と生物学は、女性が男性よりも肉体的に弱いことは事実であると証明しています。もちろん、今日では、おかしいですが...ある人が、神がアダムとエバを創造したとき、アダムとスティーブだったと思うと言いました。しかし、それはまた別の機会に。男性は、女性の覆いとなるべきです。つまりこういう事です。男性が覆いとなっていない時、サタンはただ待っています。蛇が庭で行ったように、彼は彼女をだますために、アダムと一緒にいない、彼女が一人になる機会を狙っていたのです。これは女性を告発するものではありません。つまり、パウロがこれを言う時、ある人はこういう印象を受けるかもしれません。「だまされたのは男ではなく、女だ。」それは全く、パウロが言っていることではありません。彼が言っていることは、男性は、女性の覆いだということです。蛇が彼女のところに来て、彼女を誘惑したとき、アダムはどこにいましたか？ 15節はどうでしょう？パウロが、「女性は子を産むことによって救われる」と言っている箇所です。一体どういうことでしょうか？彼が言っているのは、女性が出産時に死ぬことはない、ということです。これを呪いの裏返しとして 見るができると思います。どういう意味か説明します。女性は子を産んでも死なないし、元々の呪いである男の権威を篡奪することもない。出産の痛み、出産や分娩の激しい痛み、そして、あなたの欲望は、あなたの夫の権威を奪うことです。「しかし、神は(BUT GOD)」この二つの言葉。神と人の間に、一人の仲介者がおられるので、呪いを逆転させることができるのです。そして、その方は呪いを逆転させた最後のアダムとして知られています。最初のアダムによって、世界に罪が入りました。最後のアダムであるイエスによって、呪いは逆転され、罪は完全に支払われました。それが、彼がここで言っていることです。それが救いです。ここが重要なところですよ。締めに入っていきます。皆さんホッとされていることでしょうか。男性は、教会と家庭の指導者になるべきです。そして、女性は 男性の霊的な覆いの下にいるべきです。これが、神が定められた権威構造です。繰り返しますが、悲しいことに、サタンはこれを知っています。だからこそ、彼は男性を無気力にし、神の秩序を解体することに 大々的に成功しているのです。教会でも家庭内でも、それを見ることができます。"羊飼いを叩いて羊を散らす"という 典型的な方法です。どう言う意味がお分かりですか？ サタンはとても狡猾です。彼はまっすぐと、かしらのところへ行くでしょう。そして、夫、父親を取り除くことができれば？ おしまいです。悲しいことに、それが今日、私たちが見ているものです。サタンは男性を取り除いているのです。そして今、あなたにはこの母親、この妻がいて...

冗談でしょう？ 私はただ...これは私のメモにはありません。私はメモにないことを話す時は、いつも注意しています。なぜなら、私は今聖地を踏んでいますから...牧師として、一瞬だけ 教会について話しても良いですか？ 私の心の思いを聞いてくださいますか？ 神は私の心をご存じです。「男はどこにいるのですか？」...私は男性の皆さんを叩きたいわけではありません。しかし、男性方、私たちは男です！

男になりましょう！ 神の男になりましょう！ 私たちに与えられている権威、そのリーダーシップを取りましょう。神は私たちにそれを与えられたのです。叫んでいるなら、謝ります。

第一 コリント 11章 1節

「私がキリストに倣う者であるように、あなたがたも私に倣う者でありなさい。」(Iコリント 11:1)

「私がキリストの真似をしているのと同じように、私の真似をしなさい。さて、私はあなたがたをほめたいと思います。あなたがたは、すべての点で私を覚え、私があなたがたに伝えたとおりに、伝えられた教えを堅く守っているからです。」(Iコリント 11:2)

「しかし、あなたがたに次のことを 知ってほしいのです。すべての男のかしらはキリストであり、女のかしらは男であり、キリストのかしらは神です。」(Iコリント 11:3)

あなたがそれに逆らう時、どうなるか知っていますか？ あなたがそれを壊すのではなく、それがあなたを壊します。そしてそれが、無秩序と混沌、混乱、対立、上記のすべてがある理由です。それは秩序から逸脱しているからです。キリストが、本当に男のかしらであるならば、女性は男の下にいます。それが神が定められた権威の順序です。これで終えていきますが、私はこれについて考え、祈り、書き留めていました。あなたが、こ

の権限の下から外れる時、あなたは、神の祝福が注がれる 注ぎ口の下から外れます。どうぞお立ちください。祈りましょう。

お父様、ありがとうございます。これを乗り越えさせて下さり、感謝します。このような教えを受ける側の人々に感謝します。自分自身を含め、私たちはただ、聖霊が必要です。主よ、特に私たち男性にとって、これが私たちの人生で本物となるためには。もしかしたら、ここにいる方や、オンラインで見られている方で、これを経験している方がいるかもしれません。これが理由です。これがその理由なのです。主よ、私はあなたが、無限のチャンスを与える神であることを感謝します。あなたの見方では、決して遅すぎることはありません。主よ、私は真の悔い改めにつながる、あなたの御心に適った悲しみを祈ります。そして、主よ、あなたが私たちの罪に従って、応じられないことに感謝します。主よ、イザヤが言っているように、あなたに感謝します。

あなたは、傷んだ葦を折ることもなく、くすぶる灯芯を消すこともない。(イザヤ 42:3)

あなたは私たちの羊飼いととして、本当にやさしく導いてくださいます。主よ、今日これを、私たち男性が 心に留めることをただ求めます。私たちがあなたの下で、 私たちに与えられているその權威を握ることを。主よ、この構造に、定められた權威に感謝します。それはすべてを整えてくれます。私たちの家庭、教会、私たちの生活の中で、それを現実のものとしてください。イエスの名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7